

< 運営推進会議における評価 >

【事業所概要】

法人名	医療法人 ナカノ会	事業所名	ナカノ看護小規模多機能型居宅介護事業所
所在地	(〒890- 0008) 鹿児島市伊敷3丁目14番8号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・利用者の状況に応じて医療・看護・介護の連携を図り迅速に対応することで利用者・家族の安心感に繋がっています。
- ・医療ニーズの高い利用者を介護と看護の両面からサポートし 24 時間、365 日切れ目のない体制で安心して生活が送れるよう取り組んでいます。
- ・家族・医療、介護スタッフ間で利用者の情報共有を図るためにタイムライン形式による情報共有システム(MCS)を活用しています。また指示内容を「見える化」し統一したケアを行い、利用者、家族からの安心、信頼を得ています

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2026 年 2 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(29)人	※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦2026_年_3月_10日	出席人数(合計)	(8)人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員(2人) <input type="checkbox"/> 市町村職員(人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員(0人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者(2人) <input type="checkbox"/> 利用者(1人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族(1人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者(人) <input type="checkbox"/> その他(2人)			

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
			自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<p>事業継続計画に基づき、各自も目標設定に合わせて地域との連携を図り、院内外の研修から学びを深め質の向上を図る。</p> <p>登録者数29名での稼働率95%を目標にしつつ、緊急対応としても運用に努める。</p> <p>新規の利用者様だけではなく全利用者様に対し、質の高いサービスの提供を図り、ここにしかないケアを目指す。</p>	<p>1年間の利用者実人数37名 登録数29名定員に対して平均28.8名(1月末現在)で稼働(99%)昨年より目標達成している。</p> <p>入室、外出の制限なくご家族と一緒に過ごす時間が持てている。</p> <p>インフルエンザ等の感染症は増えてきているが、ケアタウンでは蔓延することなく過ごせている。</p> <p>スタッフにおいて、入退職はあるが、派遣スタッフによる人員補充により業務遂行している。</p> <p>質の高いケアの向上を目指し、スタッフの教育、育成の改善に向けた教育計画を検討中</p>	<p>おおよそできている</p>	<p>・退職理由はさまざまであるが、育てた人材の離職は少ない方が望ましく、補充がきちんとなされているなら安心できる。</p> <p>・介護スタッフの胃瘻注入研修を丁寧に行いケアの向上に努めていると思う。</p> <p>・ほぼ満床に近い状態を維持されておりニーズの高さが伺えます。</p> <p>また、利用者様の満足度の高いことの結果ではないかと思えます。</p>

Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に対応した専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)	利用者様及び家族の思いに合わせたサービスを実践し状態変化の情報共有(メール、MCS、請求業務ソフトによるサービス記録の情報)活用が迅速かつ効率的に維持されたサービス提供できる	在宅での対応について、わかりやすい説明を心掛け、同意をいただきご家族の安心に繋げていくことができた。 在宅でのお看取りとして、最期の時をご家族様と一緒に過ごされたご利用者様も多く、満足度の向上につながっている。 医療依存度、介護度が高い利用者様に、都度カンファレンスを行い、看護師、介護士からのアプローチを行っている。 情報共有不足もあったが、ツール活用により効率的なサービスの提供ができています。	おおよそできています	MCSにより異なる立場のスタッフ間で円滑にコミュニケーションが図れるため、これを通じて得られた情報や連携が利用者に対する医療・介護の質向上に役立っている。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)	利用者様の状況に応じて適宜サービス関係者とカンファレンスを行い状況把握し全員が情報共有できる体制を強化する。 24 時間緊急体制で連携をとり早期対応ができる。 多様なツールでの情報共有を行い、状態の把握、共有を素早く行い迅速で柔軟な対応を行う。	事故発生時の初期対応についても各自が認識できご家族へ報告、連絡を行い、信頼関係の構築に繋がっている。 業務継続計画の策定や訓練を実施し、停電時や災害時の対応について連携が取れる体制づくりを行っている。 医師、看護師の 24 時間体制による体調変化時の相談、緊急時対応などが実施でき、救急搬送時の詳細情報の連携シートの活用を行い、迅速に対応する事ができている。	おおよそできています	利用者の状態について、職員から細かな気づきや報告が常に行われているため安心できている。 ・急に怒りっぽくなり不安を感じた時、往診や服薬の変更など迅速に対応してもらえ、以前の生活に落ち着くことができた。

	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>	<p>ホームページやインスタグラムにて地域への情報発信を継続的に行う。清掃活動は継続し地域活動への参加を検討していく</p>	<p>運営推進会議を2カ月に1回開催し、活動内容などへのご意見やご助言をいただきました。 地域においての活動(行事)は要請を受け、敬老会や、消防訓練時の参加等一緒に行うことができた。 今後も、地域イベントの参加を積極的に行っていく。 清掃活動は毎月2回行っており今後も継続する。 ホームページと共に開設したインスタグラムの更新も引き続き行っていく。 利用者様においては、月ごとの外出支援を増やしていく(初詣や花見等)</p>	<p>おおよそできている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外出支援や初詣などの行事は非常に良く、家族だけでは花見など外出の機会を作りにくいため、増やして行ってほしい。 ・地域の方々と日ごろからコミュニケーションをとっていることは、利用者家族からしても安心できる。 ・運営推進会議にて毎回地域活動参加の報告があり、地域と積極的に関わろうという姿勢を感じられます。
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)</p>	<p>回覧板の導入活用し、利用者様、ご家族のみならずスタッフ、地域の方々の信頼関係が更に深まるようにサービスの提供を行う。</p>	<p>病状や生活状況など関係者から報告を受け、経過に不安なく、必要な情報をもとに本人、家族が希望や意向をしっかりと伝えられる仕組みづくりを意識している。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・今後もより一層病状経過等聞く機会を得て家族からの希望、意向を伝えていこうと思う。 	

※「進捗評価(運営推進会議における意見等)」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 「今回の改善計画(案)」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画(案)	運営推進会議における意見等	
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>事業継続計画に基づき、各自も目標設定に合わせて地域との連携を図り、院内外の研修から学びを深め質の向上を図る。</p> <p>登録者数29名での稼働率95%を維持しつつ、緊急対応としても運用に努める。</p> <p>新規の利用者様だけではなく全利用者様に対し、質の高いサービスの提供を図り、ここにしかないケアを目指す。</p> <p>教育体制を整え、各スタッフがスキルアップできる事業所計画を構築していく。</p>		
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者様及び家族の思いに合わせたサービスを実践し、状態変化の情報共有(メール、MCS、請求業務ソフトによるサービス記録の情報)活用が迅速かつ効率的に維持されたサービスを提供できる。	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<p>利用者様の状況に応じて適宜サービス関係者とカンファレンスを行い状況把握し全員が情報共有できる体制を強化する。また専門職(医師・看護・介護)の連携を深め、統一したケアを行い、利用者様満足度の向上を目指す。</p> <p>24 時間緊急体制で連携をとり早期対応ができる。</p> <p>多様なツールでの情報共有を行い、状態の把握、共有を素早く行い迅速で柔軟な対応を行う。</p>	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<p>2か月に1回の運営推進会議を通して、地域のイベントの計画提案、参加する。</p> <p>ホームページやインスタグラムにて地域への情報発信を継続的に行う。</p> <p>清掃活動を継続的に行う。</p>	
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	利用者様、ご家族のみならずスタッフ、地域の方々の信頼関係が更に深まるようにサービスの提供を行う。		

※「改善計画(案)」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等を

メモします

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよ そ でき ている	あまり でき て いない	全く でき て いない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる 「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」「②在宅での看取りの支援」 「③生活機能の維持回復」 「④家族の負担軽減」 「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		●			<p>・おおよそできている</p> <p>・医療ニーズの高い方への支援や看取りが可能な事業所が地域にあることは、心強いことだと思います</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		●			<p>・家族の気持ちやニーズに寄り添った対応を担当の方々に共有していると感じる。</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・職員間のコミュニケーションはしっかりとれている。 中堅職員の育成計画は行われているが、新人職員の教育計画は見直し中である。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		●			<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり研修を行ったうえで介護にあっていると実感できている。 ・運営推進会議での報告において、よく研修や勉強会など開催されている様子が伺えてすばらしいと感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・定期的な院内研修、個人の技術向上のための院外研修を受ける機会が確保されている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
[具体的な状況・取組内容] ・代表者による会議を定期的に行い、議事録にて情報共有を行っている。また日々の変化について、夕の申し送り、連携事項などを SNS 活用し、月1回のミーティングにてカンファレンスを行っている。							
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		●			・運営推進会議によりしっかり検討行えている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・議事録を確認しやすい場所へ置き、いつでも確認できるようにしている。要望、助言については運営会議にて検討、反映行えている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよ そ でき ている	あまり でき て いない	全く でき て いない		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
[具体的な状況・取組内容]							
・就業環境整備されているが、急なスタッフの欠勤時出勤スタッフの負担増がある為、派遣や業務見直しを行い、負担軽減に努めている。							
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容]							
・電話連絡、紙ベース、SNS 活用により職員間での迅速な情報共有行えている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おお よ そ でき ている	あまり でき て いない	全く でき て いない		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		●			<p>・報告をしっかりとされることで対策がなされ、職員、利用者も守られていくと思う。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		●			<p>・実践研修がしっかり行われている</p> <p>・災害時、緊急時に家族として何かすべきことがあるのか想定してみてもいいのでは？と思います。</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おお よそ できている	あまり できて いない	全く できて いない		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		●			<p>・おおよそできている</p> <p>・個別性のあるケアプランがよりよいケアにつながると思いますので、引き続きアセスメントをしっかりと行っていくことは、大事だと思います。</p>	<p>✓「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</p> <p>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</p>
		[具体的な状況・取組内容]					
		<p>・家族との情報共有行い、個別性のあるケアプランがそれぞれたてられている。(状況により 24 時間面会可能)</p> <p>・それぞれの職種により役割、アセスメント行えているが、日々状況変化する利用者様に対しての計画の見直しが追いついていない状況の為、連携行いながら、計画の見直しを随時行っていく。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
1 2	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
1 3	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		●			<ul style="list-style-type: none"> ・家族の希望が計画に反映され、満足している。 ・必要時カンファレンスを行い、支援者で共有されており、良いことだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・介護職、看護職、それぞれの視点よりアセスメント行い担当者会議、日々の報告により情報共有行っているが、状況変化が著しい場合において共有が追いついていない状況が発生している為、迅速な情報共有をできるように連携を図っていく。</p>					
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・担当者会議にて利用者、家族の希望や考えを把握する機会をもとに、ミーティングにて議題としてあげカンファレンスを行い、目標を決め計画が作成されている。 状態により見直しが必要な部分がある為、随時変更行っていく。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
1 4	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		●			・専門的な判断のもとのリハビリに、向上を目指した前向きな支援だととても感じました。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
1 5	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
1 6	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		●			・おおよそできている	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者の変化に対し、早期に対応行っている。					
③ 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
1 7	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		●			・おおよそできている	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・暮らし全体に着目したアセスメントはできているが、ロングショートが多く在宅での過ごし方が把握しにくいいため、居宅の訪問、聞き取りにて自宅での状況、状態の聞き取り行い状報共有行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
④ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
1 8	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		●			・おおよそできている	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・定期的な担当者会議で関係多職種と情報共有し、月ごとの状況報告書、LIFE、毎日のモバカル、メールなどで状況報告行えている。					
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
1 9	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		●			・記録はぜひ残してほしいです	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・介護職と看護職のそれぞれの役割分担行えているが、日々状況が変わる中情報が浸透していなかったり、情報錯誤がみられ、連携が取れていない場合があった為、看護職、介護職お互いに各々の専門性を効果的に、効率的に行えるよう声掛け行っていく。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
20	○利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		●			・指示表の掲示は、家族も理解を深めるのに役立ち安心できました。	✓「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ポジショニング・軟膏塗布など具体的な対応策指示を行っているが、情報量が多すぎる為共有が追い付かない状況がみられた為、検討し指示内容はわかりやすく利用者様部屋に指示表を張り出し、情報共有できるように対応策行い連携取れるようになった。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		●			・おおよそできている	✓「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・情報を提供し、提案検討を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
2 2	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		●			・丁寧な説明、書類を読むことでよく理解できました。	✓「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者、ご家族様にサービス導入時説明し理解得ている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
2 3	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		●			・おおよそできている	✓「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者様が理解不明な場合、ご家族様に説明行い理解を得ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あま り でき て い ない	全 く でき て い ない		
2 4	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		●			<ul style="list-style-type: none"> ・おおよそできている ・本人、家族のにとっては、専門的なことはわかりにくい ため、マニュアルの作成や講習の機会があるということ はありがたいです。 	✓「利用者等の理解」について、充足度を評価します
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
2 5	○ 利用者本人(意思の決定・表示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		●			<ul style="list-style-type: none"> ・おおよそできている 	✓「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・本人または家族の希望、意向を把握しサービス行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		●			・おおよそできている	✓「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・医師、看護師にて相談、連携共有行えている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		●			・おおよそできている	✓「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] ・看取りのパンフレットを用い家族へ説明し、状況を看護記録へ残しているが行っているサービスに対し記録が少なく感じるため、詳細部分まで記録に残していくようにする。介護職は24時間のケア表作成し、訪問時実施されたことを記録、家族へ生活の伝達行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		●			<p>・迅速に丁寧に気持ちに寄り添って支援してもらっている。</p> <p>[具体的な状況・取組内容] ・事前カンファレンスにて情報共有を行っているが、開始時サマリーが違う場合がある為、ケアマネージャー、看護師にて情報聞き取り、スムーズに在宅支援へ移行できるよう支援行えている。</p>	<p>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</p>
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる		●			<p>・医療との連携がスムーズで、希望を見いだせた</p> <p>[具体的な状況・取組内容] ・緊急時報告、相談、対応行えている。</p>	<p>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</p> <p>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		●			・おおよそできている	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・24時間365日緊急時対応行っている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		●			・運営推進会議で確認している ・多方面に聞かれていることは、利用者のためにも良い事だと思う。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議の議事録確認にて行われている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
3 2	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		●			・おおよそできている	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・記録はスタッフが確認できるところに設置してある。					
3 3	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		●			・利用者としても、働く方々にとっても、地域住民の理解は必要でよい方向に進むと思う。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・地域活動として、協賛だけではなく、パンフレット提供、レクレーションの実施行い、積極的に啓発活動行われている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよ そ できている	あまり できて いない	全く できて いない		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
3 4	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・他の部署【訪問看護ステーション】にて登録者以外の訪問看護実施されている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよ そ できている	あまり できて いない	全く できて いない		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
3 5	○「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	●				・研修を実施したうえで、本 当にしっかりと体制が整っ ていると感心している。	<ul style="list-style-type: none"> ✓「積極的な受け入れ」につい て、充足度を評価してくださ い ✓「受け入れることができる体 制」が整っていない場合は、 「全くできていない」 ✓「あまりできていない」～「よ くできている」は、その「積極 性」の視点から、充足度を評価 します
3 6	○「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			●		・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓「積極的な受け入れ」につい て、充足度を評価してくださ い ✓「受け入れることができる体 制」が整っていない場合は、 「全くできていない」 ✓「あまりできていない」～「よ くできている」は、その「積極 性」の視点から、充足度を評価 します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
37	○「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	●				・手厚い支援に安心できている	<ul style="list-style-type: none"> ✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない)地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
							待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
4 1	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		●			・おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・家族には福祉道具提案、ケア方法の提案行えているが、近隣住民には課題提起されていない為行われていない</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
4 2	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 2. QOL の維持向上行えている	・おおよそできている	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
4 3	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られて	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない	・おおよそできている	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」につい

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	いる	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・家族への丁寧な説明行い、職員の丁寧な対応行えている		て、評価します
4 4	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	①. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看取り時、ご家族様と一緒に不安なく過ごせている	・看取りでのサービス利用は最初に希望を聞くのでしょうか？ A. 看取りパンフレットをお渡し、説明行います。 ・看取りの具体的な時期はわかるのですか A. 看取りが近い場合、医師より説明があります。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」